

発表資料	
令和元年12月4日	
担当課 (担当者)	経済・雇用戦略課 (保木本)
電話 (内線)	0857-30-8282 (2457)

中国地方初！「電源見える化」技術の導入で 100%再生可能エネルギーの電気を 鳥取市立小・中学校に供給します！

RE100、SDGs など世界的に再生可能エネルギーに対するニーズが高まる一方で、再生可能エネルギー由来の電気であっても送配電網を通じて他の電気と混ざって消費者に届けられるため、「環境に優しい電気を選択する」という実感が得られにくい現状があります。

このようなニーズに応え、再生可能エネルギーの利用拡大を一層推進するため、鳥取市は産学官連携によって開発される中国地方初となる電源トレーサビリティ（見える化）技術とサービスを利用し、(株)とっとり市民電力を通じて 100%再生可能エネルギーの電気（FIT 電気を含む）を令和2年度から小・中学校に順次導入していきます。

1 100%再生可能エネルギー由来の電気を導入するねらい

(1) 再生可能エネルギーの利用拡大への寄与

市内最大級の事業者である市が、「エネルギーの地産地消」に基づき率先して再生可能エネルギー由来の電気を導入することにより、市民や市内事業者等の再生可能エネルギーの利用拡大を啓発する。併せて、次世代を担う子供達に実践的な環境教育教材として提供することで、さらなる利用の拡大につなげる。

(2) 温室効果ガス排出量の削減と脱炭素社会の実現

小中学校の全教室にエアコン設置が進められている中、100%再生可能エネルギー電気の導入促進により、温室効果ガスの排出量削減につなげ、地域の脱炭素化を推進する。

(3) 地方発の新たなビジネスモデル創出

次世代型エネルギービジネスの基盤技術と目されるブロックチェーン技術を応用したサービスの確立により、地方から新たなビジネスモデルを構築し、新産業や雇用の創出につなげる。

2 導入を目指す施設

令和2年度 下記小・中学校のうち10校程度
令和3年度以降 順次拡大

全市立小学校（44校）年間使用量：約316万 kWh・年額：約74,000千円分
全市立中学校（17校）年間使用量：約152万 kWh・年額：約35,000千円分
年間電力使用量 約468万 kWh（一般家庭約1,300世帯分）

3 事業主体となる産学官連携コンソーシアム

「Re:visible (アールイー・ビジブル)」について

構成企業・団体（役割）

株式会社 アクシス（システム開発・保守運用）

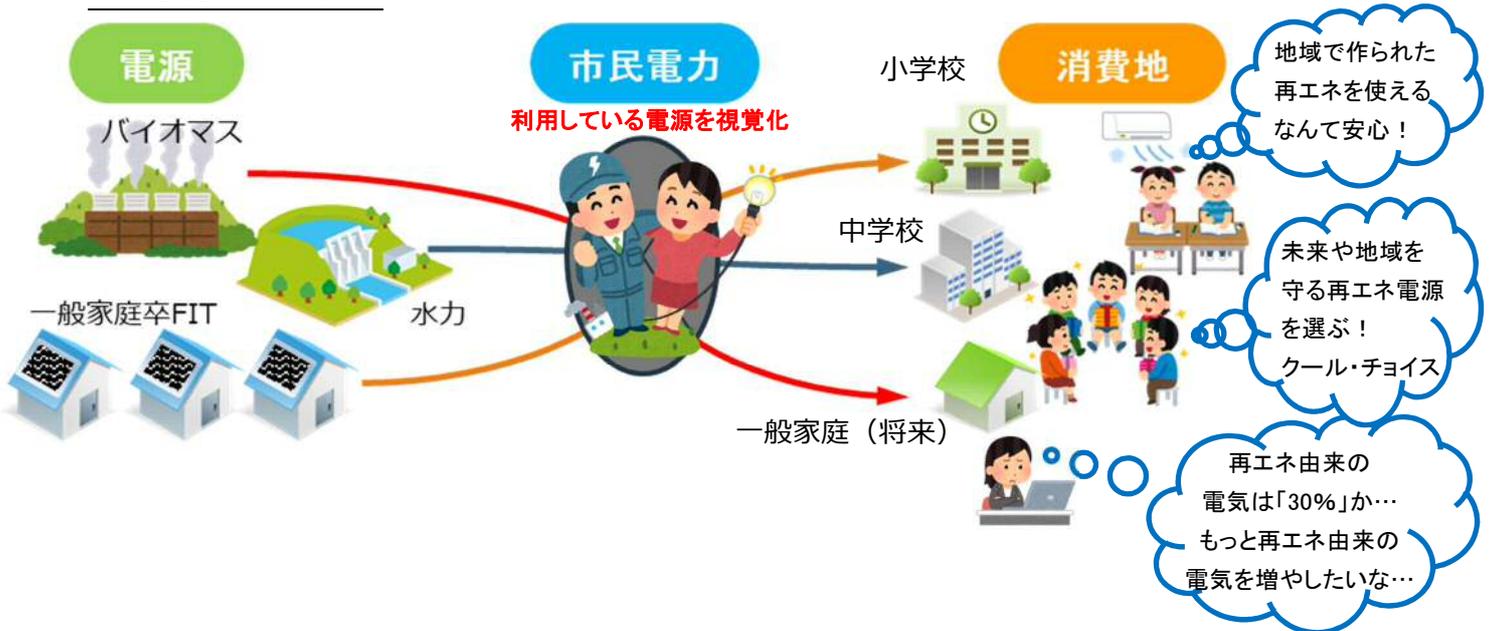
株式会社 市民エネルギーとっとり（卒FITなどの電源集約）

株式会社 とっとり市民電力（システム運用・電源調達・電力売買）

鳥取大学工学部（技術指導・エネルギー消費者の行動変容調査）

鳥取市（公共施設での実証・ユーザー用システムの運用）

4 事業イメージ



【ディスプレイ・イメージ】

